

## 歯の相談室



あじま診療所歯科 歯科医師  
右近 快平

### 骨粗鬆症の薬と顎骨壊死がっこつえし

骨粗鬆症の治療薬の一つであるビス  
フォスホネート製剤（BP製剤）を服  
用する患者さんへの副作用として顎骨  
壊死（顎の骨の組織・細胞が壊死し、  
腐った状態となる）ことが稀ではあり  
ますが生じる可能性があります。

BP製剤には、注射薬と内服薬があ  
り、注射薬の投与を受けている患者さ  
んのほうが、副作用の現れる可能性は  
高いとされています。

ただし、内服薬であっても顎骨壊死  
の可能性が報告されています。

また、顎骨壊死は口の中が不衛生な  
状態において生じやすいとされていま  
すので、BP製剤の投与を受けている  
患者さんは、定期的に歯科を受診され  
ることが大切です。その際は、服用中  
の薬名をかりつけの歯科医師にお伝  
え下さい。